

# 福春だより

名古屋市立福春小学校  
令和6年10月31日

令和6年度 努力点号①



## 学校努力点の取り組み



<テーマ> わくわくしながら課題を解決しよう

### 1 今年度の研究の概要

#### どんな子どもを育てたいか

課題を自分事として捉え、自ら課題を見付けたり、課題解決に向けて自分なりに方法を考えて取り組んだり、主体的に学習に取り組む子ども

#### そのためにどうするか

- ★生活科と総合的な学習の時間において、探究的な学習に重点を置いて進める。
- ★今年度は課題の設定（ふれる・問いの設定）に焦点を当て、「解決したい」「知りたい」という自分事化した問いを見付けることができるように手立てを工夫する。
- ★誰に対しても安心して考えや気持ちを発言できるように、「心理的安全性」を重視した人間関係づくり、学級づくりを行っていく。

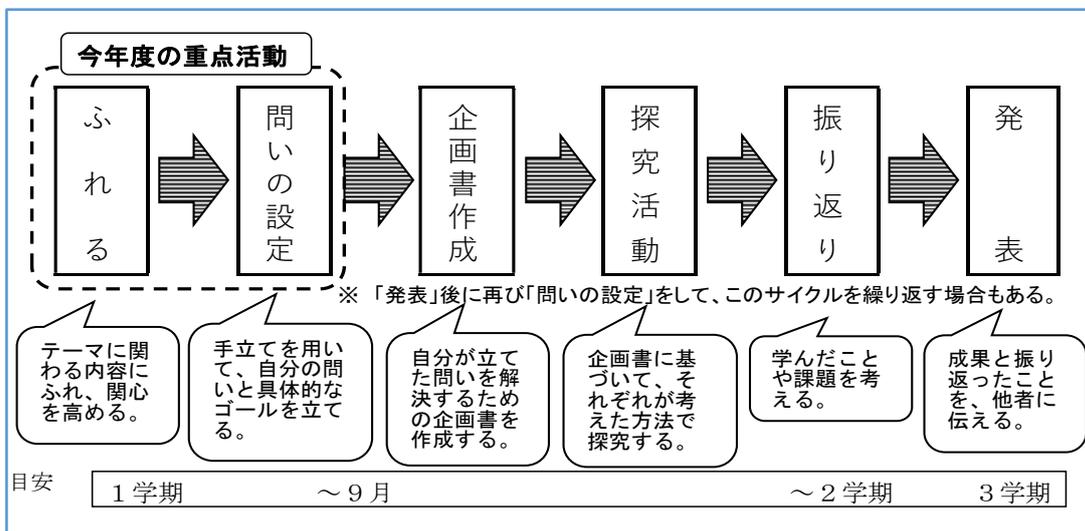
#### 具体的な取り組み

##### ◇日常実践「アドベンチャータイム」

学級で、心理的安全性が高まるようなゲームやアクティビティと振り返りを行う。「失敗してもよい」「自分が認められた」と思えるような内容にする。

##### ◆授業実践「クエストタイム」

下記のような流れで探究的な学習を進めます。



## 2 前期の取り組み

各学年の「クエストタイム」の活動内容をご紹介します。

努力点号①では、主に、**ふれる**活動、**問いの設定**場面にしばってお伝えします。

### 1年「さいてほしいな わたしのはな」

**ふれる** 6種類の花の種をよく見て、自由に名前を付けました(◎ハートちょこ(写真))。

**問いの設定** 自分が選んだ花の発芽を楽しみに世話を続け、発芽後、双葉の形の違いに気付いて「私の種からはどんな花が咲くのかなあ」と疑問が出てきました。これを共通の問いとしました。その後、どんな形の何色の花が咲くかと思うかを想像して楽しく絵に表しました。



### 2年「わたしの町はっけん」

**ふれる** 通学路を散歩して町の様子や施設、店などを調べました。見つけたものを「道カード」に書いて紹介しました。

**問いの設定** 「〇〇についてもっと詳しく知りたい」「どんな場所なのかな」などの思いや願いをもとに『福春の町には、どんなものがあるって、どんな様子かな?』と問いを設定しました。実際に、施設や店に行き、疑問に思ったことについて質問しました(写真)。



### 3年「戸田川緑地博士になろう」

**ふれる** 戸田川緑地の間伐材や木の実でクラフト活動をしました(写真)。また戸田川緑地に出掛け、施設や自然について調べて戸田川マップをつくりました。

**問いの設定** 「分かったこと・見つけたもの・調べたいこと」をカードに書いて共有しました。施設や自然(昆虫・植物)、働く人に分類して、グループの友達と一緒に問いを考えました。



### 4年「みんなにやさしい町」

**ふれる** 障害のある方からお話を聞いたり、車椅子・アイマスク・高齢者グッズ・妊婦グッズなどを使ってハンディキャップー日体験をしたりしました(写真)。

**問いの設定** 「困ったこと・便利な道具・感想」について話し合い、ウェビングマップに書き出しました。その後、さらに調べたいことを絞り、問いとゴールを設定した後、企画書をつくりました。



### 5年「世界を知ろう！」

**ふれる** 「リトルワールド」の見学(写真)を通して分かったこと、興味をもったことについて新聞にまとめました。また、映像資料などから世界の様子にふれ、疑問や感想を伝え合いました。

**問いの設定** 疑問などを付箋に書き出し、「内容が深まりそうか・その課題は調べやすそうか」という視点で分類しました。グループで話し合い、問いを決定しました。



### 6年「自分に合った生き方を考えよう」

**ふれる** どんな職業があるかを出し合ってグループ分けしたり、ものづくり体験(写真)を通して働くことについて考えたりしました。

**問いの設定** 自分の好きなことや得意なことからどんな職業が向いているかを調べました。また、何のために働くのかを考え、「働くマップ」をつくりました。「働くマップ」をもとに就きたい職業についてウェビングマップに書き出しました。



### わかくさ・さくら「季節の大発見!!」夏ver.

**ふれる** 運動場や戸田川緑地で「夏」の自然にふれました(写真)。春との違いや、春にはなかった植物を見付け、発見したことを伝え合いました。

**問いの設定** 見つけたものの中で気になるもの、もっと詳しく知りたいものを選んで問いを設定しました。その後、図鑑やインターネットなど、どんな方法で調べるとよいかを考えました。



### 【前期を終えて】

どの学年も“自分事可した問い”をもつことができるように手立てを工夫して進めてきました。自分事可するためには、実体験する、本物にふれる、実際に携わる人に話を聞くなどの体験活動の充実が大切であることが分かってきました。

今後は、設定した問いやゴールをもとに企画書をつくり、楽しく探究活動を行っていきます。

